

平成27年度事業報告

公益財団法人佐賀県臓器バンク

平成27年度事業報告

I 概要

公益目的事業として認定されている下記の4事業を実施しました。

(1) 県民への広報事業

臓器移植及び腎臓病の予防に関する理解を広げるための事業

(2) 移植医療体制整備等事業

臓器提供、臓器移植を担う医療機関の対応力の向上や臓器搬送をはじめ移植医療との連携が必要な機関などの体制の整備と連携の強化等を推進する事業

(3) 臓器移植希望者支援事業

臓器移植を希望する患者に対する情報提供・助成等の支援事業

(4) 臓器提供者フォロー事業

臓器提供者側に十分な敬意と謝意を示すとともに、提供者遺族等への精神面の支援等を行う事業

II 各事業の実施状況

(1) 県民への広報事業【公益目的事業1】

県民に対して、臓器移植の必要性や臓器不足の現状、臓器移植の制度等への理解、臓器提供意思表示カードの携帯などを訴え、臓器移植の普及に取り組むとともに、特に臓器移植希望者が多い腎不全患者の増加等を抑制するため、腎疾患の予防のための知識の普及を図りました。

ア. 啓発イベント等による広報

A) 臓器移植普及推進月間（10月）キャンペーン

毎年全国一斉に展開されている臓器移植普及推進月間事業として、佐賀市内の大規模商業施設「ゆめタウン佐賀」において、臓器移植提供意思表示説明用リーフレット等を街頭配布し、臓器移植への理解、臓器提供に関する意思表示の普及を訴えました。

a) 街頭キャンペーン

日時 平成27年10月24日（土）13:30～15:30

場所 ゆめタウン佐賀（佐賀市）

内容

・街頭配布活動

臓器移植及び慢性腎臓病に関するチラシ等を配布し、理解を呼び掛けました。

〔チラシ等配布実績〕

臓器提供意思表示カード説明用リーフレット、意思表示カード、腎臓病予防チラシ等 1,000部

主 催 佐賀県、佐賀県腎臓病協議会、佐賀若楠ライオンズクラブ
佐賀県臓器バンク

b) 懸垂幕による広報

月間中、佐賀県庁本館庁舎に、懸垂幕を掲示し、県民への広報を行いました。

c) タクシー・ステッカーによる広報

月間である10月1日から4か月間、株式会社佐賀タクシー・ビジネス・センター傘下のタクシー事業者の協力を得、佐賀地域及び唐津地域のタクシー(約600台)の窓ガラスに、当財団作成のオリジナルステッカーを掲示する方法により、県民への広報を行いました。

d) ポスターによる広報

移植医療への理解を呼び掛けるACジャパン支援のポスター約1,200枚を、医療機関・市町・学校等に配布し、広報を行いました。

また、免許証等所定の意思表示欄への記入を呼び掛けるポスター約50部を、市町・警察署・自動車学校に掲示し、広報を行いました。

B) 世界腎臓デー(3月第2木曜日)におけるキャンペーン

慢性腎臓病患者の増加に伴って重症化による人工透析患者数が増加しているため、国際的な統一キャンペーンとして設けられている世界腎臓デーに合わせて、慢性腎臓病の予防、重症化予防に関する理解を広めるため、チラシ等を配布し、広報を行いました。

a) 街頭キャンペーン

日 時 平成28年3月8日(火) 17:00~18:00

場 所 ゆめタウン佐賀(佐賀市)

内 容 街頭配布活動

慢性腎臓病の重症化予防に関するチラシ等を配布し、理解を呼び掛けました。

[チラシ等配布実績]

腎臓病予防チラシ等 1,000部

主 催 佐賀県、佐賀県腎臓病協議会

佐賀県総合保健協会、佐賀県臓器バンク

イ. 他団体の各種イベントや街頭等における随時の広報

A) 県内イベントや街頭での広報事業

多くの県民の方に移植医療や提供臓器が不足している現状、制度や臓器提供意思表示の手続きなどについて理解を広げるため、随時に、県内各地で開催される他団体のイベント会場等において、一般県民を対象にパネルの展示、カード、リーフレットの配布等により、広報を行いました。

訪問会場 佐賀市花しょうぶ園（５月２８日～６月７日）
唐津市あじさい祭（６月１３日～１９日）
佐賀農業まつり（２月６日）

配布数 約１,０００部

B) 成人式会場における広報

成人式への参加者に対して、臓器提供意思表示カードの普及についてのリーフレットを配布しました。

対象市町数 ２０市町
送付数 ８,７５０部

ウ. 公共施設窓口等における広報

市町庁舎、図書館等の公共施設、医療機関、薬局、保健所、金融機関、大学等の窓口臓器移植に関するリーフレット等を配置し、当該施設等への来場者に対する広報を行いました。

資料配置箇所 ; 累計 約８００ヶ所

《「県民への広報事業」の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益

- ・ 県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置及び活動に対する助成
- ・ 民間補助金の名称：日本臓器移植ネットワーク地域支援事業
- ・ 民間補助金の目的：地域における移植医療体制の整備及び一般県民への啓発のための事業の支援

(2) 移植医療体制整備等事業【公益目的事業１】

臓器提供者側の意思表示に適切に対応し、臓器提供、臓器移植を円滑に進めていくには、臓器提供が発生する可能性がある医療機関における臓器提供時の対応力の充実、臓器提供側医療機関と移植を行う医療機関及び臓器移植コーディネーター、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク等の当事者間の協力と連携体制を築いておくことが不可欠なため、当財団の臓器移植コーディネーターが各医療機関を訪問して当該医療機関の課題等を把握するとともに、臓器提供時に臓器提供医療機関の窓口となり、また日頃から各医療機関内での体制づくりの推進役となる院内移植コーディネーターの配置や、各医療機関内での勉強会、県内の移植医療関係者を集めての連絡会議や研修会等を開催して、各医療機関の臓器移植への対応力の向上と協力・連携体制の向上を図りました。

また、臓器移植の際に、摘出された臓器を限られた時間内に的確に搬送するには、臓器搬送車の誘導等を行う警察や航空機利用時の空港等の管理者等との緊密な連携が必要なため、連絡体制や連絡方法等の確認等を行いました。

ア. 院内移植コーディネーターの配置

特に臓器提供の可能性が高い救急指定病院（消防法及び厚生労働省令に基づき都道府県が指定告示した病院）等において、臓器提供時の病院内当事者間の調整、県臓器移植コーディネーターや公益社団法人日本臓器移植ネットワークとの連絡調整等を担うとともに、日頃からの病院内体制づくりをけん引する「院内移植コーディネーター」を委嘱しました。

・平成27年度委嘱者数 47名

・平成27年度委嘱医療施設数 9カ所

佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター好生館、唐津赤十字病院、河畔病院、白石共立病院、嬉野医療センター、伊万里有田共立病院、やよいがおか鹿毛病院、新武雄病院

・報酬等 なし

イ. 院内移植医療勉強会の開催

臓器移植に関する制度や対応の仕方について、臓器提供が少ない現状では、通常の臨床においては経験、学習する機会が少ないため、各医療機関で臓器提供・臓器移植に的確に対応するためには、臓器移植に関する研修を通じて情報・知識を習得し、また、各医療機関内での組織的な役割分担や協力体制を確立する必要があります。

また、臓器提供者の尊い提供意思を看過することなく、臓器移植に生かしていくためには、臓器提供側の医療機関において、終末期に至った患者の最後の選択としての臓器提供の意思（提供者本人の臓器提供意思表示の有無、家族等の同意）を確認したり、医療機関スタッフが（臓器の提供時期が不確定のため）長時間にわたって待機を要する等の大きな負担を克服するに足る臓器移植への理解が必要です。

このため、当財団の臓器移植コーディネーターが研修内容の企画や講師の選定・依頼等の支援を行い、臓器移植に関する法制度や体制づくり等についての学習等の研修を実施しました。

A) 佐賀県医療センター好生館

日 時 平成27年11月16日（月）

参加者 10名（透析医療従事者等）

内 容 「日本の移植事情」「献腎移植希望登録の手続」

講師 県臓器移植コーディネーター

B) 佐賀大学医学部附属病院

日 時 平成27年12月3日(木) 参加者数45名
平成28年3月28日(月) " 40名
参加者 医師、看護師、臨床検査技師
内 容 院内脳死判定医等によるシミュレーション研修

C) 嬉野医療センター

日 時 平成28年2月25日(木)
参加者 約30名(医師、看護師、臨床検査技師、事務担当者)
内 容 院内スタッフによる脳死下臓器提供時のシミュレーション

ウ. 連絡・連携のための会議等の開催

移植医療関係者の相互の連携を深めるとともに、共通する課題等についての情報・意見の交換によって知識を深めるため、県内移植医療関係者合同の連絡会議を開催しました。

A) 佐賀県臓器移植普及会議の開催

a) 平成27年度第1回会議

日 時 平成27年11月13日(金) 18:30~20:00
場 所 佐賀市 アバンセ4階研修室
参加者 43名
各医療機関の院内移植コーディネーター
県内救急指定病院職員
腎臓移植会員施設移植医
日本臓器移植ネットワーク・コーディネーター
県臓器移植コーディネーター
佐賀県健康増進課
佐賀県臓器バンク事務局

内 容

- ・講演「臍臓・腎臓同時移植を受けて ～ドナー様と共に歩む」
講師：福岡県腎臓病連絡協議会移植部長 大塚いずみ氏
- ・講演「脳神経外科医師の立場から見た日本の臓器提供事情の問題点」
講師：新小倉病院脳神経外科部長 吉開俊一氏

主 催 佐賀県・日本臓器移植ネットワーク
佐賀県臓器バンク

b) 平成27年度第2回会議

日 時 平成28年3月2日(水) 18:30~20:30

場 所 佐賀市 アバンセ4階研修室

参加者 約70名

各医療機関の院内移植コーディネーター

県内救急指定病院職員

腎臓移植会員施設移植医

佐賀県警察本部(鑑識担当)

日本臓器移植ネットワーク・コーディネーター

県臓器移植コーディネーター

佐賀県健康増進課

佐賀県臓器バンク事務局

内 容 脳死下臓器提供シミュレーション

アドバイザー: 日本臓器移植ネットワーク

臓器移植コーディネーター 鮫島由紀子

出席者参加のロールプレイによる研修及ポイント解説等

主 催 第1回会議に同じ

エ. 臓器搬送体制の確保

佐賀県警察本部担当者及び佐賀空港管理事務所担当者との打合せを通じて、臓器搬送時の連絡方法、対応の方法について、マニュアル等の内容の確認等を行いました。

《「移植医療体制整備等事業」の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益

- ・ 県補助金の名称: 佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的: 臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成
- ・ 民間補助金の名称: 日本臓器移植ネットワーク地域支援事業
- ・ 民間補助金の目的: 地域における移植医療体制の整備及び一般県民への啓発のための事業の支援

(3) 臓器移植希望者支援事業【公益目的事業1】

臓器移植を受けるために必要な臓器移植希望の登録の際の本人の負担を軽減するため、手続きの支援や費用の助成を行いました。

ア. 臓器移植希望者への情報提供

6件の相談に対応して、電話や対面での相談、検査施設での立会、手続きの支援等を行いました。

イ. 臓器移植希望登録に係る費用の助成

公益社団法人日本臓器移植ネットワークに臓器移植希望を登録するために必要な組織適合検査（HLA検査）に要する費用を助成しました。

助成者数 6名

助成額 150,000円

《「臓器移植希望者支援事業」の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益

- ・ 県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

(4) 臓器提供者フォロー事業

ア. 臓器提供者遺族等への支援

平成26年度の臓器提供者・家族に対する敬意と謝意を表すために、事後の弔問を行うとともに、臓器移植患者の術後の経過等の報告を行いました。

平成26年度中の臓器提供 1件

(県臓器移植コーディネーター交替のため、当該コーディネートに従事した日本臓器移植ネットワーク担当者が対応)

《「臓器提供者フォロー事業」の財源》

基本財産運用収益

平成 2 7 年度事業報告参考資料

県臓器移植コーディネーターの活動〔平成27年度〕

1. 県内での臓器提供 なし
2. 情報提供件数 2件
3. 研修等の活動

日本臓器移植ネットワークが主催する研修会、連絡会議等に参加しました。

4月3日	日本移植学会メディアワークショップ	福岡市
6月11日 ～12日	都道府県臓器移植コーディネーター研修会	東京都
7月1日	九州・沖縄コーディネーター連絡会議	福岡市
7月8日	新任コーディネーター・オリエンテーション	福岡市
7月22日	脳死下臓器提供事例研修会	福岡市
10月2日 ～3日	日本移植学会総会	熊本市
10月9日	福岡県臓器提供普及協議会	福岡市
11月18日 ～19日	全国あっせん事業体制整備推進会議 都道府県臓器移植コーディネーター研修会	東京都
12月9日	九州・沖縄コーディネーター連絡会議	福岡市
1月27日 ～28日	都道府県臓器移植コーディネーター研修会	東京都
1月29日	日本脳神経外科救急学会	東京都
2月19日	福岡県臓器提供普及協議会	福岡市
3月4日	長崎県移植情報担当者会議	長崎市